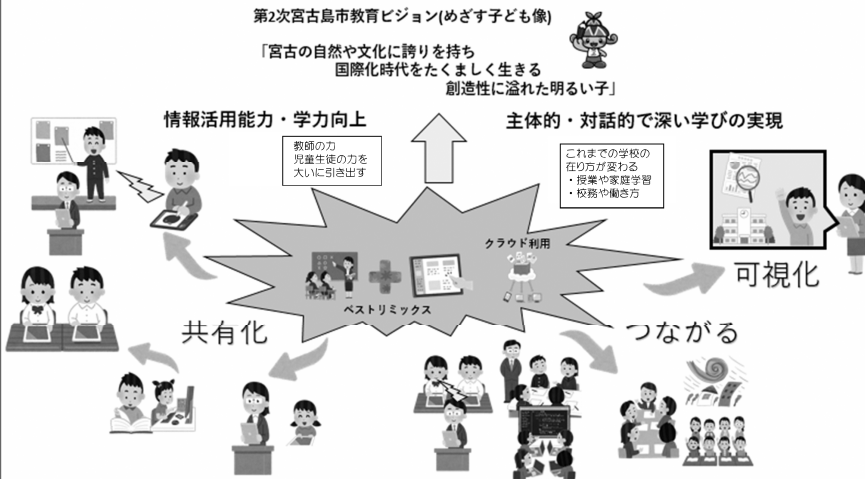


## 宮古島のGIGAスクール構想実現イメージ ～何が変わるの??～



宮古島市でもGIGAスクール構想の実現に向け、整備事業が始まっています！  
～ Global and Innovation Gateway for All ～

### GIGAスクール構想の実現とは・・・？

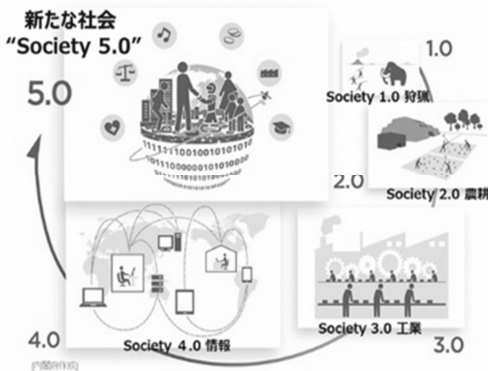
- ・1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現します。
- ・これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師、児童生徒の力を最大限に引き出します。

#### なぜGIGAスクール構想が必要なの??

これから訪れるSociety 5.0時代には「経済発展と社会的課題の解決を両立するため、イノベーションにより新たな価値を創造すること」を可能とする人材が必要となります。

そのため学校教育においても、ICT等先端技術を活用し課題解決を図ることのできる能力を養うことが求められています。

※Society 5.0: 狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を生み出す変革を科学技術イノベーションが先導していく、という趣旨で「第5期科学技術基本計画」において政府が提唱した概念のこと。



### 環境整備について

#### 1. 校内LAN整備

校内のネットワーク強化と無線化を行います。

#### 2. 学習者用タブレット整備

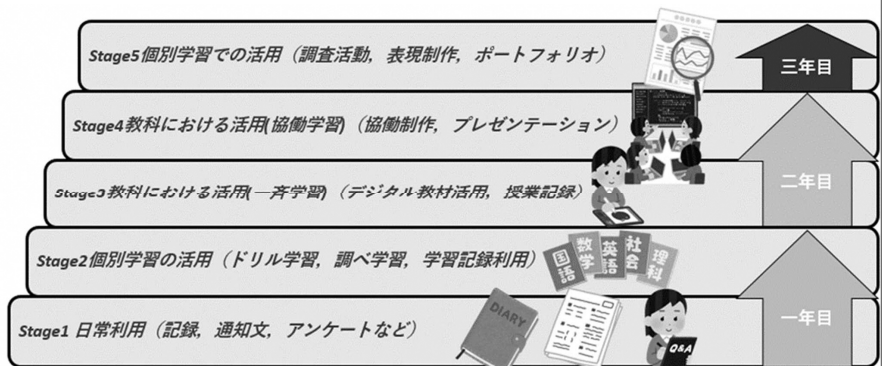
児童生徒1人1台の利用が可能な台数のタブレットを整備(5年間のリース事業)します。

令和2年度中の完了を目指し実施しています！

### 活用のステップについて

宮古島市では、まずは日常的にICTに触れる機会を増やすこと、そこから各教科においてICTを課題解決に活かすこと、さらには、児童生徒個々の興味や課題に基づいてその解決にICTを活用すること等による活用ステップを設定しました。

この活用ステップと児童生徒の活用段階を考慮した活用計画を策定し、教員のフォローアップ等を実施していく予定です。



### 運用について

- ・ Google社のG suite for Educationを活用するため、児童生徒1人に1つのアカウントを作成します。
- ・ タブレットは学校に必要な数を配置します。
- ・ 家庭への持ち帰りは、学校が許可した時に行います。
  - ※ 家庭にWi-Fi環境が無く、経済的な事情等により家庭学習に必要な通信環境が整備できない家庭には、タブレットの持ち帰りと併せて可搬式のWi-Fiルーターを貸し出します。
- ・ Wi-Fiルーターの家庭利用に際しては、申請が必要となります。
  - ※ 申請の方法等については、年度内に学校を通して通知します。
- ・ 5年後のリース終了に向け、BYOD (Bring Your Own Device) について検討を進めます。
  - ※ BYOD (Bring Your Own Device): 個人所有の端末を会社や学校等に持ち込んで利用すること。